

夏の必需品！日よけシェード『サングッド』

[猛暑対策！] 高遮熱生地バリエーション追加

～2022年5月6日発売～

セイキ販売株式会社（東京都練馬区、代表取締役社長：守谷将人）は、2022年5月6日より窓の外部に取り付けて室内への日射熱の侵入をカットする日よけシェード『サングッド』に更に遮熱性能が高い「高遮熱生地」を発売しました。

『サングッド』は、住宅の断熱性能が向上する中で、より重要性が増してきた夏場の日射遮蔽を手軽に実現できる商品です。窓の外部に設置することで室内への日射熱の侵入を効果的にカットすることが出来る商品として、2001年の発売当初より好評を得てきました。2020年には2回目となる商品フルリニューアルで、操作性、静寂性、デザイン性などの向上を行っています。

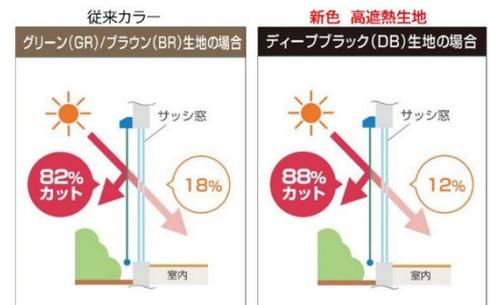
今回は、さらに日射遮蔽性能が高い、高遮熱生地をバリエーション追加することで、室内での熱中症対策や節電による省エネ・環境対策に貢献したい考えです。

今回追加した高遮熱生地は、85～88%の日射熱をカットできるもので（*）、サンドベージュ、ディープグレー、ダークブラウン、ディープブラックの4色となっております。オーソドックスで外壁の色に合わせやすく飽きの来ないカラーを揃えました。また従来品と同様に、外から室内の様子が分かりにくく室内からは外の様子が分かる様メッシュ状の生地を使用していますが、遮熱性能と共に「見えにくさ」もアップしており、在宅時間の増加とともに拡大した目かくし需要ともマッチしています。

気象庁によると2022年の夏も例年より気温が高めになることが予想されています。一方で電力需給については東日本を中心にひっ迫傾向が続くことが経済産業省から発表されています。このような中で日陰

を作ることによって夏をより心地よく暮らしながら、同時にエアコンの冷房効率を高め節電も図れる日よけシェード『サングッド』は、一般戸建住宅は勿論のこと、高齢者施設や保育施設などにもおすすめできる商品です。

（*）建材試験センター試験 JSTM K6101により、一般ペアガラスの窓の外側に今回追加した高遮熱生地を設置した場合の試験値です。



■ 高遮熱生地施工イメージ



標準生地

新色 高遮熱生地



グレイ(GY)
日射熱カット率 66%



クリーム(CR)
日射熱カット率 68%



サンドベージュ(SB)
日射熱カット率 85%



ダークブラウン(DB)
日射熱カット率 87%



ライトグレイ(LG)
日射熱カット率 76%



グリーン(GR)
日射熱カット率 82%

+



ディープグレイ(DG)
日射熱カット率 85%



ディープブラック(DK)
日射熱カット率 88%



ベージュ(BE)
日射熱カット率 73%



ブラウン(BR)
日射熱カット率 82%

標準生地よりも日射熱カット率が高く、
室内側も見えにくくなっています

*スクリーンの内外を同じ明るさで撮影しています

【 サングッドの商品特長 】

●高い日射遮蔽性能で抜群の省エネ効果を発揮！くつろぎの空間演出にも！

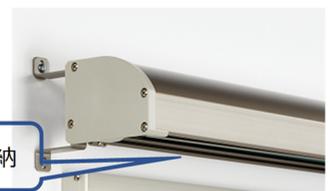
窓の外側にサングッドを設置することにより、室内の温度上昇を抑え、熱中症のリスク削減にも役立ち、エアコンの効率を高めて冷房費を削減できます。また、バルコニーやウッドデッキと組み合わせて設置すれば、日差しや視線をカットしてくつろぎの空間を演出できます。

●ソフトクローズ機構搭載でスクリーンを静かに収納

サングッドはスプリングによる自動巻き上げとなっています。ダブルブレーキによるソフトクローズ機構を搭載することで、スクリーンが収納しきる直前でブレーキが掛りゆっくり巻き上がり、ボトムバーが静かに収納されます。また、シャフトのバタつきや操作音も小さく、快適な使い心地となっています。

●ボトムバーがボックス内にすっぽり収納

スクリーンを使用していない時はボトムバーがボックス内に完全収納されます。見た目のスマート感がさらにアップして、様々な住宅スタイルにフィットします。また、スクリーン収納時は、強風が吹き続けてもボトムバーがバタつくことがなく安心です。



ボトムバーがすっぽり収納

WEB カタログ

https://seiki.meclib.jp/23001sungood/book/?page_num=#target/page_no=1

本件に関するお問い合わせ先

セイキ販売株式会社 営業企画推進室 相楽・佐々木
TEL:03-5999-5825 FAX:03-3992-8578 Mail:info@seiki.gr.jp
〒176-0014 東京都練馬区豊玉南 3-21-16